



## 町民の声

「誠実であれ、  
正直であれ」

岸 宏一先生顕彰会 会長  
星川 忠一 さん  
(安沢 71歳)

### 胸像に想いを託す

この度は、町内外の多くの皆様より心温まるご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

一昨年来より郷土の生んだ偉大な先生の顕彰を行うおうという声が寄せられ、日増しに大きくなる関係者のご賛同のもと、昨年8月17日に類いまれな業績を顕彰することを目的に「岸宏一先生顕彰会」を設立しました。

顕彰会は、胸像建立等の諸顕彰事業を実施することとし、これまで町内外の多くの皆様から563万円のご協力を戴いており、心より感謝申し上げます。

胸像は役場駐車場に隣接して建立し、昨年10月14日には無事に除幕式を執り行うことができました。胸像には、菅義偉内閣官房長官、山東昭子参議院議長、吉村美栄子山形県知事の揮毫をいただきました。お近くにお越しの際はぜひご覧いただきたいと思ひます。

### 住民自治の理想を求めて

先生は昭和42年に町議会議員となり、以来、町の歴史や先人への敬意と想いを大切に、また誇りとして政治に取り組み、地方自治の精神、とりわけ団体自治と住民自治の理想を機能させることに腐心された政治人生だったと思ひます。

先代から、全町美化運動に標榜された住民意識を高めるための対話と個人の誠意の相互啓発を継承し、地域が一つとなり意志あれば道は拓けると町民の誇りと団結力を鼓舞。自ら困難に遭遇した時、いつも町民の姿に勇気と自信を与えられたと述懐していた。

自治の根幹である「開かれた町政」による行政・議会・住民が一体となった町づくりが、美しい街並み景観や全国の自治体初となる情報公開条例といった先導的施策につながった。

郷土を誇りに町民一人ひとりと向き合い、地方自治の確立と住民自治の高揚を掲げ、国政にも責任と品格を希求し、国民が成熟した判断力を持つことの大切さを説いた先生の政治活動を、胸像と共に後世の方々に伝えていただければ幸いです。



## 議会新豆知識 No.3

### ● 予算の審議

「予算議会」とも言われる3月議会。4月から始まる令和2年度予算案を審議する議会となる。予算の編成権は町長にあることから、議会は町長が提出した予算案が適当なのかをチェックすることが大きな役目になる。

「決算議会」と言われる9月議会での決算の認定とは意味合いが異なり、これからの事業を実施するための予算の審議であることから、住民の関心と比例するように高い関心と意識を持つて議会に臨むことになる。

こうしたことから、予算審議には十分な時間が必要となり、町議会では全議員で「予算特別委員会」を設置して予算案を審査することが慣例となっている。結果、議会の開催期間となる「会期」も当然長くなる。

令和元年度は「財政健全化元年」と言われただけに、この度の予算編成はこれまで以上に注目を集めることになる。町民に身近な予算がどのように編成され、どのように審査・審議されるのか、ぜひ注目して欲しい。

## 3月議会定例会は3月6日(金)～13日(金)の予定です

町民の皆様のお待ちしています

日程は近くなりましたら町ホームページ内の議会ページでお知らせします。

## デザインコラム No.3

夢を見た。「ヤドカリ」が私に向かつてきたのだ。

かなり昔になるが、山形市内の歩道脇の水路で、デカく汚れた巻貝を背負ったヤドカリを見たことがあった。

海から来たのか？

このことが夢の元にあるのかも知れない。

都会も田舎も「少子高齢化」。

いま日本社会は崖っぷちに立っている。

ヤドカリは、古殻を捨て、新しい宿貝に好奇心もって身を投じる。

元気を得る夢で新しい年を迎えた。

(文責・須藤典夫)

### 発行責任者

柴田 清正

### 議会広報常任委員会

- 委員長 沼澤 道也
- 副委員長 星川 智子
- 委員 寒河江 宏一
- 委員 中村 忠行
- 委員 大場 洋介

